



水子貝塚展示館には6千年前の貝層のはぎとりが展示されています。よく見ると、ななめこころの層が重なっています。貝の種類やサイズ・変化の混じる割合を調べると、周期がわかります。木年輪があるように貝がらには日輪というものが、一日に一本の成長線を残します。この日輪の幅は季節によつてちがひ、冬は狭く、夏には幅広くなります。顕微鏡で見ると貝が何層にも重なっていたものかわかるのです。土の層は貝をほぐすとゆるやかなった季節にたまつたのです。

みずこかいづか

# 水子貝塚の貝

かい

ヤマトシジミ・サルボウ・ハマグリ・マガキ



水子貝塚展示館（みずこかいづかてんじかん）のはぎとりのかいそうだんめん

